

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考							
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等								
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の金融、経理、税務、及び雇用対策等に関する経営諸問題について相談を受け、商工会議所を始め、国、県、市の各種制度の積極的な利用を促すことで、経営改善の一助となることを目的に実施する。	巡回・窓口指導延件数：1709件 巡回・窓口実企業数：955件 課題解決提案件数：107件 経営革新承認件数：3件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 129.5 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 97.3 %)			経営指導員による巡回・窓口相談指導の結果、小規模事業者へ、商工会議所・国・県・市の金融・雇用・補助金等を中心とした各種施策普及を図ることで、経営支援を行うことができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	次年度も引き続き小規模事業者の経営課題解決のため、巡回・窓口相談指導対応をしていく。主に巡回に力を入れ、事業者の課題の掘り起こし、提案を促すことで、伴走支援に繋げていく。
				目標数値	1,320	実績数値	1,709	目標数値	110	実績数値	107					A			A		必要性	A	
記帳継続指導	管内個人小規模事業者の自主記帳の促進を図ることを目的として、日常の記帳から決算・税務申告に至るまで記帳実務の習得に向けて取り組んでいる。また、決算時には税理士による記帳専門指導を行い、適正な決算書作成に向けて指導する。具体的には、毎月記帳状況を確認するとともに、源泉徴収や決算処理、確定申告などの事務処理方法について指導する。	指導対象事業所数 6件 指導日数 30日 指導回数 66回	小規模事業者	指標	指導対象事業所数 (達成度 60.0 %)			指標	(達成度 %)			多様な業種の方が多く来所され、正しい帳簿作成や確定申告(e-Tax)の方法について指導を行うことで今後の安定的な経営への支援を図った。また、インボイス制度について説明し、登録事業者になるかどうかの検討を行った。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き創業者や青色申告者を中心に正しい帳簿の作成について指導していく。また、確定申告(主にe-Taxによる電子申告)について指導を行うとともに対象指導事業所数を増やすべくPRを行う。
				目標数値	10	実績数値	6	目標数値		実績数値						A			A		必要性	A	
講習会等	目まぐるしく変化する経済情勢に対応した情報提供を通じて、小規模事業者の経営革新と人材育成をサポートする。また、複雑化する経営環境に対して小規模事業者が健全かつ高度な経営が行えるよう、専門的な立場からの意見、アドバイス、指導が容易に得られる場を提供する。	小規模事業者向けの情報サポートと人材育成に特化した講習講演会を厳選して効率的に実施する。 ・集団 23回 参加者総数 496人(内、小規模事業者 91人) ・個別 63回 参加者総数 42人(内、小規模事業者 42人)	小規模、中小事業所の経営者、幹部、社員	指標	集団参加人数 (達成度 99.2 %)			指標	個別相談者数 (達成度 58.3 %)			コロナ禍の影響を受け、計画していたセミナー・講演会をいくつか中止せざるを得なかった。一方で、事業評価は高く、小規模事業者の人財育成や能力開発にも貢献できたと考える。	総合評価	C	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	採用を控えている事業所が多いようで、新人研修を中心に集客の厳しさが予想される。一方で、それぞれの講習会のPR方法についても、メールリストを作成するなど、新たな取り組みを行うことを考えている。
				目標数値	500	実績数値	496	目標数値	72	実績数値	42					B			A		必要性	A	
青年部	若手経営者、後継者育成のための組織。会員相互の啓発と企業の持続的発展、商工会議所の事業活動の活性化及び地域産業・経済の発展のため、提言、意見具申を含めて各種事業を行う。ひとつづくり委員会、まちづくり委員会、ことづくり委員会、ええじゃないか委員会、総務広報委員会、30周年実行委員会を設置し各事業を実施する。	総会2回、役員会12回、正副会長会議12回、委員会及び事業(会員交流、ええじゃないか、国際ビジネス、政策提言、新し いまちの価値創造、ビジネス活性化、総務広報)91回、合計117回開催。	小規模事業者及び中小企業	指標	総会・役員会・正副会長会議・委員会及び事業の開催 (達成度 95.9 %)			指標	(達成度 %)			未だに感染症の影響を受けた内容もあったが、基本的には対面開催を行うことができた。今年度はDXやSDGs、政策提言、国際ビジネスなど新たな分野に挑戦した委員会もあり、青年経済人や地域にとって学びの多い1年になった。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	令和5年度は東海ブロック大会が豊橋で開催されるため、通常の委員会とは別に実行委員会を組織して活動を行っていく。
				目標数値	122	実績数値	117	目標数値		実績数値						A			A		必要性	A	
女性会	主に小規模事業者・中小企業である女性経営者および共同経営者のスキルアップを図ることにより、経営力向上に繋がる可能性があり、事業活性化を図る。	1.役員会12回 2.総会(1回・臨時総会1回)計2回 3.月例会4回 4.その他(関係団体諸会合及び各種行事等)	主に小規模事業者・中小企業の女性経営者または共同経営者。	指標	役員会・総会・月例会等開催 (達成度 105.9 %)			指標	(達成度 %)			女性会の各種事業等を契機として、女性経営者または共同経営者としての資質向上に繋がり、それぞれの事業面において活かしていくノウハウを得られたことで、事業活性化に繋がった。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	コロナ禍が収束しつつあることを踏まえ、例会等活動の回数を増やす予定である。特にこれまで控えていた交流活動にも注力する予定。
				目標数値	17	実績数値	18	目標数値		実績数値						B			A		必要性	A	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					今後の展開・改善点等	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②
調査・広報事業	市内の景気動向や地域の事業者の景況を把握・分析し、各種媒体等での公表や経営指導時の活用などを通じ、小規模事業者の経営活動に資するため、市内の（会員）事業所や各種業界団体を対象とした各種調査を実施する。小規模事業者（商業サービス業）の新商品や新サービスのテストマーケティングを実施する。小規模事業者（製造業）の技術課題と大学の技術テーマのマッチングを実施する。	・豊橋市景気動向調査（4回：回収率49%） ・中小企業景況調査（4回：回収率59%） ・商工会議所LOBO調査（12回） ・テストマーケティング（1回） ・豊橋技術科学大学件室訪問事業によるマッチング事業（1回）	中小企業 小規模事業者	指標	景気動向調査調査票回収率 (達成度 98.6 %)	指標	景況調査調査票回収率 (達成度 84.6 %)	地域中小企業の景況感を全業種に亘って網羅的に調査し、整理分析を行うことで、中小企業の経営環境や抱えている課題を把握することができた。また、新型コロナウイルス感染症、円安や原材料・原油高等がいかにかに地域経済に影響を与えたか可視化することができ、優先的に取り組むべき課題を把握することができた。	総合評価	B	事業評価側の 自己評価 B 目標達成度 B	事業者への 調査結果 満足度 B 必要性 A	現行どおり	現行どおり	従来の往復はがきによる調査に加え、Googleフォームを導入したことで、お寄せいただけるコメント数が増加した。引き続き原材料・エネルギー価格高騰や不安定な国際情勢が与える影響や、地域中小企業が抱える課題の集約に努めていく。	○		
事業計画策定支援	企業のライフステージに応じたセミナーの実施、支援を実施。事業者との相談や面談の中で、小規模事業者とともに事業計画策定を実施する。経営革新・経営改善支援 企業成長・経営安定支援 創業・起業支援 事業承継・M&A支援	計画策定支援においては、昨年度に引き続き小規模事業者・中小企業向けのコロナ対策補助金制度が数多く公募されたことにより計画書策定支援の相談が増加し目標値を上回る結果となった。	市内 小規模事業者	指標	事業計画策定支援 (達成度 231.0 %)	指標	(達成度 %)	小規模事業者は、日々の営業に追われ、自社の中・長期的なビジョンが欠落しがちであるが、伴走型で行う計画作成支援は、自社を見直す機会、また未経験者にとっては国等の補助金を活用する機会にもつながっている。	総合評価	A	事業評価側の 自己評価 A 目標達成度 A	事業者への 調査結果 満足度 A 必要性 A	現行どおり	実施方法① 実施方法②	補助金申請をはじめ経営計画作成ニーズは高まっているため継続して行う。	○		
事業計画実施支援	事業計画の策定を支援した事業者に対し伴走型フォローアップという位置づけで行い、事業計画や行動計画の実行、経営指導員による二人三脚で支援を実施する。	計画策定支援後、事業者に対して、適宜連絡をとり、計画の進捗等について確認するとともに、プレスリリースや専門家派遣など具体的な実行支援も行った。	事業計画策定支援した事業者	指標	事業計画策定事業者へのフォローアップ回数 (達成度 89.5 %)	指標	(達成度 %)	フォローアップにおいては、コロナの影響を受けている事業者も多く、スピード感をもった対応を行った。計画策定後の環境変化によって、計画の見直し・変更を行うことなどができた。	総合評価	A	事業評価側の 自己評価 A 目標達成度 B	事業者への 調査結果 満足度 B 必要性 A	目標① 下げる 実施方法① 実施方法② 現行どおり	目標②	計画策定と合わせてフォローアップを行うことは、計画の進捗確認や見直しにつながり、重要であるため、継続して行う。	○		
情報交換・商談会	新たな取引先や販路・協力先の拡大・共同開発などに繋げるビジネスマッチングの場を創出することにより、事業所の活性化と地域の振興を図る。	＜地域の商談会＞ ■令和4年2月15日・16日 ■参加申込み 事業所数215。 ＜アライアンス・パートナー＞ ■令和4年7月4日～8日 ■556社参加、延べ1,419商談 ＜地域商談会（三河知多）＞ ■令和5年2月16日（対面） ■令和5年2月17～24日（オンライン）*豊橋からは3社参加（すべて対面・受注企業）	小規模事業者	指標	地域の絆商談会 参加申込事業所数 (達成度 113.2 %)	指標	とよはし Bizネット 参加企業数 (達成度 0.0 %)	地域内外のバイヤー・セラに幅広く声掛けを行い、2日間で過去最高の315件の商談を行うことができた。一方で、とよはし Bizネットは、バイヤーへの打診を行ったが、実施するまでには至らなかった。	総合評価	B	事業評価側の 自己評価 B 目標達成度 B	事業者への 調査結果 満足度 A 必要性 A	目標① 上げる 実施方法① 実施方法② 現行どおり	目標② 現行どおり	”地域の絆”商談会については、“常連客”が多く付いてきたこともあり、それらを大切にしつつ、新規の開拓をさらに進めたい。一方 Biz ネットについては、新たなバイヤーを探し出し、何とか単独で開催に漕ぎつけたい。	○		
プレスリリース発信支援・販促支援事業	企業の販売促進力の強化を図るため、メディアへの露出を戦略的に行い記事掲載される確率を向上させ、世間に自社商品・サービスの認知度を高めることで、販路開拓を図る。チラシ・DM等販促物作成支援HP作成等IT関連支援	20社のプレスリリースを支援	市内小規模事業者等	指標	プレスリリース利用企業数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	20社のうち、10社がメディアに取り上げられたことにより、認知度を高めることができた。	総合評価	A	事業評価側の 自己評価 A 目標達成度 A	事業者への 調査結果 満足度 A 必要性 A	目標① 現行どおり 実施方法① 実施方法② 現行どおり	目標②	新聞記事からWEBメディア掲載に繋がった事例もあり、より周知の範囲を広げることができた。今後もWEBメディアへの掲載を目指していく。			
雇用促進事業	＜学生就職情報センター＞大学生等の新卒予定者と地元優良企業の出会いの場をつくる。 ＜無料職業紹介所＞中途採用を望む求人企業へ再就職・転職希望の求職者を斡旋。雇用と仕事探しの両面を支援する。 ＜ビジネスパーク＞中学生・高校生に地元企業を知ってもらうことにより、地元で就職する意欲を高める。	＜学生就職情報センター＞合同企業説明会等の開催（4/21、5/19、6/23、9/2、12/27、2/133/15に実施）参加企業数408社 ＜無料職業相談所＞紹介数38件、採用者数13件 ＜ビジネスパーク＞開催回数2回	人材確保したい小規模事業者をはじめとする会員企業	指標	合同企業説明会参加企業数 (達成度 112.0 %)	指標	ビジネスパーク開催回数 (達成度 100.0 %)	小規模事業者へ人材採用機会を提供し、雇用の確保と経営の安定の一助となった。	総合評価	A	事業評価側の 自己評価 A 目標達成度 A	事業者への 調査結果 満足度 A 必要性 A	目標① 現行どおり 実施方法① 実施方法② 現行どおり	目標② 現行どおり	就職活動の早期化、オンライン化にともない、説明会への来場数が減少傾向ではあるが、企業側の需要は高いため、集客方法を検討しながら引き続き実施する。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考				
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等					
炎の祭典事業	炎の祭典の開催を通して、全国に向けた情報発信による当地域の知名度向上を図るとともに、旅行社、バス会社等を通じてツアー商品を造成していただき観光客の誘致増強に取り組むことにより地域経済活性化を図る。	11月に計2日間のイベントを開催した。来場者数は2日間合計で1,756人となった。当初計画時よりも新型コロナウイルスの影響度が下がり、観覧客席数を増加して開催することができた。	一般市民、市外観光客	指標	ツアー観光客数 (達成度 175.6 %)			指標	(達成度 %)			お客様の約8割が市外からの来場となり、宿泊や飲食での消費活動にも繋がったため、大きな経済交ががあった。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	観光の動向はコロナ禍前に戻りつつあるため、今年度の事業手法をブラッシュアップし、更に効果的な事業としていく。
				目標数値	1000	実績数値	1756	目標数値		実績数値								A	必要性	A	
ものづくり博覧会事業	昭和59年より、名称変更をしながら、隔年にて地元のものづくり技術の強さや魅力を「発信」し、次世代の若者たちに「ものづくりの楽しさ」を知ってもらうことを目的に開催している。	前回の中止から4年ぶりに開催することができた。 ◆ものづくり博2022in東三河 1. 日時：令和4年6月17日～18日 10時～16時 2. 場所：豊橋市総合体育館 3. 出展企業：108（小間） 4. 来場者数：10,500人（2日間延べ）	東三河地域のものづくり企業（小規模事業者を含む）（申込制）	指標	申込・出展企業・団体数 (達成度 74.5 %)			指標	(達成度 %)			年々、地域内・外への周知が高まっており、次世代若者に向けて地元のものづくり企業にとって絶好の情報発信の機会となった。またウィズコロナの対応として、WEB展示機能も加え、新たな展示会の開催方法を示すことにもつながった。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	次年度開催に向けて準備・企画を進めるとともに、出展企業にとって、継続的にものづくり人材の確保・育成を図ることができ、事業展開を行う。
				目標数値	145	実績数値	108	目標数値		実績数値								B	必要性	A	
地域振興祭事業	『ええじゃないか豊橋』を中心とした演出をし、特色あるまつりとして多くの来場者を動員することにより商店街をはじめとした中心市街地の活性化を図る。	3年ぶりに前夜祭を開催するとともに、ステージイベント、まちなかイベントも参画した。	中小・小規模事業者	指標	豊橋まつり振興会の会議への役員の参画（回数） (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			イベントへの参加による地域貢献。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	コロナ禍をきっかけとする新たな気づきを活用し、豊橋市と協調して地域振興事業を推進していく。
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値		実績数値								A	必要性	A	
商店街・街づくり事業	地域商店街は、単独で活動する事が難しく商店街が複数連携する事業、地域の大型商業施設との情報交換及び連携事業により商店街振興を図る。中心市街地商店街の商業機能衰退を、まちづくり会社へ事業支援を行うことで民間活力による事業の推進を図る。	①イルミネーションフェスティバル（4団体）・商業団体街路灯等電灯料補助（8団体） ②豊橋商業活動懇話会の開催 ③豊橋市中心市街地活性化協議会へ参画④空き店舗対策事業などの活性化事業へ参画（8件）	商店街、小規模事業者、中心市街地に立地する事業所	指標	参画商店街数 (達成度 60.0 %)			指標	空き店舗活用事業実施店舗数 (達成度 266.7 %)			イルミネーションフェスティバル開催により、中心市街地の賑わいに繋がった。空き店舗対策事業では、魅力ある店舗を空き物件に積極的に入居していただき、中心市街地の賑わいに貢献した。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	コロナ禍の影響を強く受け、商店街は衰退している。商店街に必要な機能を精査したうえで、事業実施を行う。
				目標数値	20	実績数値	12	目標数値	3	実績数値	8							B	必要性	A	
地域産業活性化事業	豊橋・豊川・蒲郡商工会議所および東三河地区の商工会、㈱サイエンス・クリエイティブ、豊橋技術科学大学等と組織し、地域内外の支援、連携機関との連携・協働事業の実施等により、管内のものづくり企業の育成強化を図り、新産業・新事業創出に繋がる支援活動を展開する。	産業創出やマッチングを促すための技術相談事業やものづくり人材の育成のためのMOT講座等を開催した。また浜松・飯田地区と三遠南信地域合同にて、浜松地区に新規進出するナプテスコをパイヤー企業とした照会事業（新技術商談）を行った。（実績：MOT講座、ものづくり大賞、ものづくり博、ナプテスコ照会事業）	東三河の商工会議所管内のものづくり企業を対象とした「東三河ものづくり企業」	指標	セミナー、交流会、マッチング等の回数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			MOT講座では地元企業の事例を含め、技術経営を学ぶ機会を提供できた。また、三遠南信地域による商談会により、マッチング機会の提供ができた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	新産業や新事業創出の地域としての玉だしやものづくり人材確保に向けた取り組みを強化し、企業力と地域産業力の向上、発展につなげる。
				目標数値	4	実績数値	4	目標数値		実績数値								A	必要性	A	
エコカー事業	次世代を担う子供たちを対象に環境にやさしい技術、取り組みを“ものづくり”を通じて学ぶ機会を提供することにより、将来に向けた人材育成に加え地球環境活動の一助となることを目的として事業を展開する。	1. 第20回高等学校エコカーレース総合大会（6月12日） 2. ものづくり教室の実施（6月18日） 委員会・ワーキング開催 2回	将来ものづくりをめざす高校生、小中学生	指標	委員会・ワーキング開催回数 (達成度 133.3 %)			指標	(達成度 %)			3年振りにエコカーレース総合大会を開催。感染症対策として規模縮小や無観客での実施となった。また初めてYouTubeを使ったライブ配信を行った。ものづくり教室もプログラミング体験を行い大変好評であった。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	次世代のものづくり人材育成が図られるようエコカーレース事業を実施する。
				目標数値	3	実績数値	4	目標数値		実績数値								A	必要性	A	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考							
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					今後の展開・改善点等						
BCP事業	災害(大地震、水害など)に遭遇した際の緊急時における対策について、事業の早期復旧・継続のための準備や計画を中心に検討しておくことが大切であり、NPO団体等と連携してBCPに関するセミナー及び防災フェア等を通して普及をしていく。	1. 事業継続力強化計画セミナー1回 2. 第18回防災フェア1回	小規模事業者・中小企業	指標	セミナーおよび防災フェアの開催 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			セミナーでは南海トラフ地震の臨時情報対応をテーマに開催した。市では対市民への防災啓発を行うため、連携を図りながら企業への周知が必要である。防災フェアにおいては、様々なテーマを取り扱うことでBCPへの関心を高めた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	タイムリーな内容でセミナー及び防災フェアを開催していく。また、専門家派遣等も活用しながら企業のBCPの意識を醸成する。
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値	実績数値	A	B					現行どおり			現行どおり				
人材育成事業	事業主、従業員のスキルアップのため、日本商工会議所、東京商工会議所主催の検定試験の実施（内、簿記検定試験受験者数954人）	日本商工会議所、東京商工会議所主催の検定試験の実施（内、簿記検定試験受験者数954人）	小規模、中小事業所の従業員、幹部社員、経営者	指標	簿記検定実受験者数 (達成度 73.4 %)			指標	(達成度 %)			合格率は前年に比べ高く、スキルアップへ貢献できた。	総合評価	C	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き人材育成を図るべく継続実施する。
				目標数値	1300	実績数値	954	目標数値	実績数値	C	A					下げる			実施方法①		実施方法②		
福利厚生事業	小規模事業者は、福利厚生や不測の事態が起こったときの備えが不十分で、不安定な経営を余儀なくされている場合が多い。そこで、共済・保険への加入促進を図るとともに労働安全衛生規則により義務付けられている定期健康診断を実施することにより、経営の安定に加え、事業主をはじめ、そこで働く従業員が、安心して働ける職場環境づくりに寄与することを目的とする。	生命共済、特定退職金共済制度、ビジネス総合保険、業務災害補償等、各種共済・保険の加入促進と定期健康診断事業を実施。共済・保険加入事業所数179社 定期健康診断受診者数197人	小規模事業者・中小企業	指標	共済・保険加入事業所数 (達成度 89.5 %)			指標	定期健康診断受診者数 (達成度 98.5 %)			小規模事業者の福利厚生を充実させ、事業者及び従業員の健康状態を把握することにより生活習慣病の予防と安定的な事業活動の維持を図るための一助となった。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	次年度も引き続き共済並びに保険制度の加入促進及び健康診断を実施し小規模事業者における福利厚生の充実を図る。
				目標数値	200	実績数値	179	目標数値	200	実績数値	197					B			A		現行どおり	現行どおり	
労働保険事業	労働保険（労災・雇用保険）の加入手続をはじめとした各種事務処理は、中小企業の事業主に負担になることが少なくない。そのため事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を代行し、事務負担の軽減を図るとともに労働保険適用の加入促進を行う。	労働保険事務新規委託件数23件（保険関係ごとの合計）	常時使用する労働者数300人以下（金融業・保険業・不動産業・小売業は50人以下、卸売業・サービス業は100人以下）	指標	新規委託件 (達成度 86.7 %)			指標	(達成度 %)			雇用保険の加入・喪失手続きや保険料申告事務を代行することにより事業主の事務負担を軽減でき、雇用・労務をはじめとした労働保険についての各種相談にも対応できた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き、新規委託事業所の適用促進を図るとともに、委託された事業主の事務負担軽減に努め各種相談にも対応していく。
				目標数値	30	実績数値	26	目標数値	実績数値	B	B					現行どおり			現行どおり				

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊橋商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考						
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等							
産業団体等指導事業	豊橋市を中心に、主として東三河の市並びに町に所在する事業所を以って組織し、会員の資質向上のための勉強会並びに経済的諸条件の向上を図ると共に、産業の振興に寄与する。	豊橋鉄工会で以下事業を行った。 ①総会（1回） ②講演会（1回） ③優良従業員表彰式（1回） ④野球大会（1回） ⑤正副、役員会、懇談会（4回）	市内の中小企業者、小規模事業者	指標	鉄工会事業の回数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			コロナの影響により親睦事業の一部が中止となった。特に、優良従業員表彰は、単独企業ではなかなか効果が見えにくいのが、共同で開催し、業界で表彰することで、定着率や従業員のモチベーションのアップにつながっている。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	コロナ前と同様の規模で各事業を実施をしていく。交流事業や親睦事業などを実施することで地域活性化が図れるよう展開していく。
				目標数値	8	実績数値	8	目標数値		実績数値						A		B		必要性	A	
若手後継者育成事業	「若手経済人」たる会員一人ひとりの成長により、地域経済の発展に寄与することができる人材育成、意識の醸成、経営者の資質向上を図る事業を実施すること。新事業展開の可能性を含めた地域活性について、セミナーやパネリストを招いたパネルディスカッション形式の研鑽の場を創出する。地域経済にビジネスチャンスを見出し、会員の資質向上を図るとともに地域の発展や人材育成に繋げていく。	セミナー及びシンポジウムを開催。講師には公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグの島田慎二チェアマン（代表理事CEO）をお招きし、新Bリーグ構想やアリーナの可能性などについてお話をいただいた。愛知大学地域政策学部の元晶焔教授や三遠ネオフェニックスの牛尾信介代表取締役、豊橋市スポーツ協会理事長兼豊橋観光コンベンション協会会長の佐藤元英氏に登壇いただき、パネルディスカッションを行った。青年部会員72名が参加。	小規模事業者及び中小企業	指標	参加人数 (達成度 72.0 %)			指標	参加者満足度 (達成度 125.0 %)			参加者からは「地域にとって真に意味のある事業だった」「立場の違う一人ひとりが自分の立場から市について考える良いきっかけになった」といった感想が聞かれた。青年経済人として地域の継続的発展に寄与するための政策提言の足掛かりとなる事業を開催するとともに、活気あふれる地域を目指すための人材育成や意識の醸成に繋げることができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も継続して若手経営者の資質向上や人材育成、地域経済の発展を図る事業を実施していく。
				目標数値	100	実績数値	72	目標数値	80%	実績数値	100.0%					A		A		必要性	A	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。